

ろっかくがわ すいげん じんろくさん 六角川の水源地「神六山」へ

〇はじめに

六角川の下流から上流までの流域の様子を載せています。第5学年「流れる水の働き」において、六角川の流域及び、杵島・武雄地区の小学校でご活用頂ければと思います。

〇六角川ってどんな川？

佐賀県武雄市西川登町の神六山（標高447m）を水源とし、白石平野を蛇行しながら貫流し、下流部において牛津川と合わせて有明海に注ぐ、一級河川です。今回は、六角川の水源地を調べます。



図① 六角川河口から水源(神六山)に至る水路



図② 地点 A(下流) 六角川河口堰(ろっかくがわかこうぜき)



図③ 地点B(中流) 六角川と武雄川の合流地点付近



図④ 地点C-1(上流) 長崎県との県境 矢筈ダム(やはすダム)



図④ 地点C-2(最上流) 矢筈ダムより上流の集落

〇おわりに

六角川は海拔高度が全域にわたって低く、潮の干満の影響を大変受けやすい川です。昭和以降、11の洪水が観測されています。先の令和元年8月の大雨で、武雄市・大町町などで多くの被害が出ました。武雄市朝日町では、大雨時に河川の水位をコントロールする「排水機場(はいすいきじょう)」を行政と地元の人とが協力して管理し、地域の洪水対策をしています。



図⑤ 高橋排水機場(朝日町)



図⑥ 北方小学校前(北方町)



図⑦ 北方公民館前(北方町)